

オンライン
開催



写真提供: 右手のないダウン症のピアニスト鈴木凜太郎さんとご両親

ダウン症の探求と実践 伴学プログラム

第二回「青年期をサポートするために」

身体や心、環境の変化に戸惑い悩む青年期。
誰にでもやってくるこの大切な時期をサポートするために、
私たちはどのようなコミュニケーションを取ればいいのでしょうか。
伝え合える環境は整っているでしょうか？
当事者にとってもコミュニケーション力を高めることは
生活動作の能力以上に、QOL(生活の質)を高めることにつながります。
この時期に必要なコミュニケーションの重要性とアイデアを
坂井先生が子どもたち目線でお話しします。

坂井 聡 (さかい さとし)

香川大学教育学部卒。金沢大学大学院教育学研究科修了。香川県内の特別支援学校で教鞭をとったのち、2005年香川大学教育学部助教授、2013年同教授に就任。2016年から香川大学バリアフリー支援室長兼任。2019年4月香川大学教育学部附属坂出小学校校長、同附属幼稚園園長に就任。

香川大学教育学部 特別支援教育領域 教授、言語聴覚士、公認心理師、特別支援教育士スーパーバイザー、香川大学学生支援センター バリアフリー支援室 室長、自閉症スペクトラム支援士エキスパート、
(著書)
●知的障害や発達障害のある人とのコミュニケーションのトリセツ
●自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア—起点は視点を変えること
●自閉症スペクトラムなど発達障害がある人とのコミュニケーションのための10のコツ 他



日時 2023年 1月29日(日) 13:30～15:30

受講料 1,000円 ※Zoomによるオンラインのみ(見逃し配信あり)

お申込み 右記QRコードを読み取り、お申し込みください →



締切 2023年 1月26日(木)

伴学プログラムでは、支援する側とされる側という関係を超えて共に学び成長する「伴学者(支援者を意味する造語)」を育てるために、様々な講座を行っています。今回のテーマである青年期のサポートは、「青年期の学びの場」開校に向けて準備中の私たちにとっても重要なテーマです。たくさんの方のご参加をお待ちしています。



〈主催〉特定非営利活動法人ダウン症ファミリー総合支援 めばえ21

〈お問合せ(伴学事務局)〉mebae21bangaku@gmail.com 〈団体ホームページ〉<https://mebae21npo.wixsite.com/family>